

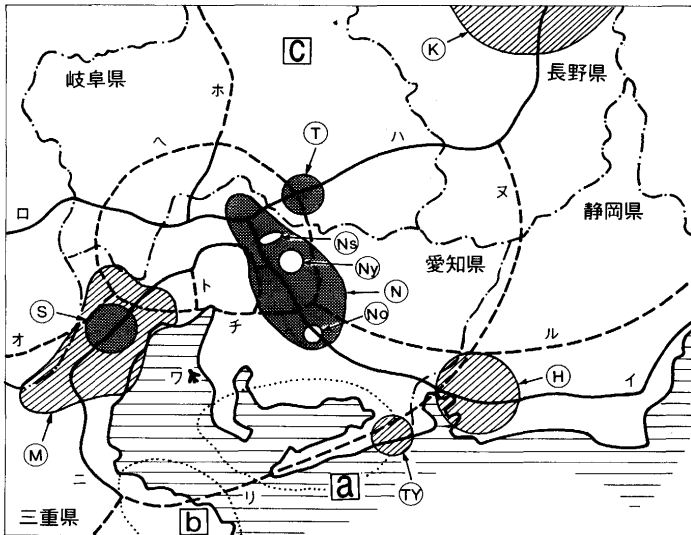
表2 研究学園都市の機能分担 (研究対象)¹⁾

東濃	名古屋東部丘陵	鈴鹿山麓
次世代エネルギー	ライフサイエンス	環境保全技術
超高温材料	メカトロニクス	新素材
極限環境利用	マイクロマシン	バイオテクノロジー
ファインセラミックス	バーチャルリアリティー	産業関連
	航空宇宙関連	社会科学
	ファインセラミックス	

表3 研究学園都市を支える道路交通網⁷⁾

(・供用中, 拡充, 新設決定 * 構想)

拠点地域間	母都市直結	域外交流
名古屋環状2号線・東海環状自動車道・伊勢湾岸道路・伊勢湾口道路*・鈴鹿亀山道路*	名古屋都市高速道路・名古屋瀬戸道路・ガイドウェイバスシステム志段味線・磁気浮上リニア東部丘陵線*	第二東名, 名神高速道路・三遠南信自動車道・東海北陸自動車道・中央リニア新幹線*・中部新国際空港*



- T 東濃研究学園都市
- N 名古屋東部丘陵研究学園都市
- Ns 志段味地区
- Ny 八草地区
- No 岡崎地区
- S 鈴鹿山麓研究学園都市
- M ハイテクプラネット21
- H 浜松地域テクノポリス
- TY サイエンス・クリエート21
- K テクノハイランド信州
- イ 東名高速道路
- ロ 名神高速道路
- ハ 中央自動車道
- ニ 東名阪自動車道
- ホ 東海北陸自動車道
- ヘ 東海環状自動車道
- ト 名古屋環状2号線
- チ 伊勢湾岸道路
- リ 伊勢湾口道路
- 又 三遠南信自動車道
- ル 第二東名高速道路
- オ 第二名神高速道路
- ワ 中部新国際空港

a 三河湾地域リゾート構想 b 国際リゾート三重サンベルトゾーン構想 c ニューリゾート基地構想

あるので、適切な機能分担(表2)と相互連携が課題であり、その在り方が多方面で議論されている。また、研究学園都市間、拠点地域間を繋ぎ、母都市とを直結する道路交通網(表3)や情報通信網の整備が進められ、第2東名・名神高速道路、リニア中央新幹線計画、中部新国際空港構想の三大プロジェクトも、当地域と域外の研究学園都市あるいは海外との交流・連携に重要な役割を果たすものとして21世紀初頭の実現を目指して推進が図られている。

鈴鹿から浜松まで星雲のように連なる一帯が、各拠点地域の

特徴を發揮しながら有機的につながり、先端技術を世界に発信し、国際的交流・共同研究の拠点となる日の来ることを願って、今後も見守っていきたい。

参 考 文 献

- 1) 東海地域研究学園都市構想調査推進研究会報告書 平成5.5.12
- 2) 志段味まちづくり構想 パンフレット 名古屋市 平成3.3
- 3) 東濃研究学園都市推進連絡協議会パンフレット 平成5
- 4) 三重ハイテクプラネット21構想パンフレット 三重県 平成5
- 5) 浜松地域新技術産業都市構想推進協議会パンフレット 平成5
- 6) 先端技術がひらく地方都市 本田波雄 日本放送出版協会
- 7) 環伊勢湾地域整備連絡会議報告書 平成4.8

“外人”を意識させる日本

ラジャイ アリレザ
(名古屋国際センター広報企画課)

日本に滞在する外国人の中で、芸能人とスポーツ選手について学生が環境に恵まれているグループだと思う。自分もそのグループに属していたので本当の外国人の悩みを理解していないと言える。しかし十二年間日本に滞在し、それを自分の第二の祖国だと思っている一人の外国人として日本社会での外国人の立場を考えてみたいと思う。

自分も含めて、初めて来日する外国人の多くは祖国でもっている日本のイメージと現実の違いに出会う。外国での日本の優れた工業製品と経済力についてのニュースが、近代的で冷やかなイメージをもたらししている。しかし、来日して初めて、日

本にはまだ本来の人間らしい姿が根強く残っていることに気づく。また、近代的な面と伝統的な面の見事な調和にも驚かされ、感心させられることが多い。「伝統のある所に暖かい心がある」という言葉を毎日のように認識する一方、「日本にはいつまで?」というような質問で自分が一時期のお客さんだということを知られる。しかし、この日本が好きになって深入りする外国人も少なくない。

学生時代を終え社会に出ると直ぐに、自分がお客さんではなくなっていることに気づく。また、日本社会のシステムとの係わりが深くなるほど、自分がどんな立場にいるかが分かるようになる。日本と日本人に対してのそれまでの気持ちをもとに理解しようと努力するが、理解しきれないところが沢山出てくる。

例えば、税金などの負担については市民あるいは国民と見なされているのに、それぞれに与えられるべき選挙権のような権利が与えられていないこと。いくら日本に長く住んでいても、

「国籍条件」によって除外されることなどさまざまである。その中でも私が一番理解できないのは、日本人女性と外国人男性の間に生まれた子供には、父親が外国人だという理由で母方の氏字が戸籍謄本に付けられる事である。どうしてもそれが気に入らない父親は、奥さんに氏字を変えてもらうしか道がないとのことである。雇用の場合でも外国人はほとんど短期契約で雇われ、出世も極めて難しいと言われている。

もちろん、バブル時代のような労働力不足の穴埋めのための外国人無制限受け入れは決して望ましいことではなく、ヨーロッパで見られるような大変な結果、すなわちファシズムの発生を招く可能性があることに注意すべきである。もうすでにマスコミが「外国人犯罪の増加」などの見出して外国人と犯罪を結びつけ、反外国人感情を引き起こそうとしているのは残念なことである。そもそも犯罪は特定の国民や人種の問題ではない。



活発な企業活動と社会の課題

マハリ アブラハム
(愛知製鋼(株)研究開発部)

日本の企業と社会について広い範囲のことを日本語で書くのは私にとって非常にむづかしい。私自身が日本へ来て身近に感じたことを素直に書きたいと思う。

十年前、私がJICA（国際協力事業団）の研修生として初めて日本に来るまでの私の日本に対するイメージは“すぐにこわれてしまう物を造る国”であった。しかし九ヶ月の研修期間で私が感じたことは自分の考えが大きく違っていたことである。研修の中で行われた企業見学で見たものは、整った設備と清潔で働きやすい職場環境であった。企業は積極的に設備投資をして、新しい技術の導入等で、よりクオリティーの高い製品を造る努力をしている。実際、自分自身が日本の会社で働いてみて、その作業の効率の良いのには感心した。設備が整っていない、製造過程においても工具がそろっていない、時間をかけて、ようやく製品を造りあげても、それを運ぶ方法がない、何をやるにも時間がかかってしまう私の国（エチオピア）とは大きな違いを感じた。システム化された作業はその能率を上げている。

例えば私が働いている愛知製鋼ではトヨタの看板システムがとり入れられている。それはトヨタに於ける自動車の製造に“JUST ON TIME”で直結しているのである。このように他の



日本の社会及び日本人の仕事に対する姿勢

劉 鈺
(住友軽金属工業(株)技術研究所)

資源が乏しく、国土も狭い日本が急速な経済成長を成し遂げた。今やアジアだけでなく、世界のリーダー的な存在となったことは、同じアジアに住む私達にとって驚きである。「百聞は一見にしかず」という諺があるように、真実は人に聞くよりも見た方が納得すると思ひ、また、日本の先進技術を学びたいと思ったので、日本に留学することに決めた。

今、日本に来てからもう6年目である。一昨年名古屋工業大

最近の不況で外国人に限らず日本全体でも増えているのであって、貧しさと置かれている状況の厳しさ故に生まれるのである。不況の影響をもっともひどく受けているのは外国人だということから、このグループの間に犯罪が増えても決しておかしいことではないと思う。そして当然だが、さらに注意する必要があるのは少数の人間の行動で、一つのグループやその国の全体を批判、または判断してはいけないと思う。

日本社会を単元素金属の組織に例えると、外国人は組織に溶け込めない介在物のように見える。全人口の1%以上が外国人という今、彼らが偏析することによって全組織に悪影響を与える前に、介在物から自分の特長を生かして組織に尽くせる合金元素へと立場を変えられるような社会制度の改革が必要ではないだろうか。もちろんこの場合にも適正な配合が必要であることは明らかである。

企業でも研究や技術開発が進められていると思う。そして、より生産性を向上させたため日本の企業は世界の中でも1, 2の位置を占めるほどに成長したと思う。しかし日本の人件費は高く、それが製品のコストに影響をおよぼしているのも事実である。ようするに日本の物は何でも高い!!

確かに日本では良い物、新しい物がどんどん造られる様になった。しかし物に対する日本人の価値観は、我々外国人から見ると少しおかしな気がしないでもない。めずらしい物、新しい物にはすぐにとびつくが本当に良い物を大切に長い間使うという習慣がなくなっているのではないだろうか？日本ではお金さえあれば、ほとんどが何でも手に入るが、まだ充分に使える不用品があふれ、その始末に困っているのも事実である。我々から見ると本当にもったいない話であるが、今、日本ではゴミ処理は大きな社会問題となっている様である。まだ使えるものを修理するための部品が製造されていないというのも問題だと思ふ。

最近ではリサイクル運動も盛んになってはいるが、その開発はまだ遅れている。新しい物を造るよりもリサイクルの開発の方がお金がかかり過ぎるという問題がある様だが、いかに安く、それを可能にする事が出来るかを考えるべきだと思ふ。又、過剰包装等、無駄なものももう少し規制されても良いのではないだろうか？さらに、社会と企業とのかかわりを考える時まだいろいろな問題が残されていると思ふ。



学材料工学科を卒業し、現在住友軽金属工業(株)の技術研究所に勤めている。最初、日本に対するイメージは、美しい自然、伝統的な文化、優しい人々であった。特に日本人は礼儀正しく、思いやりがあると、私は実感した。言葉の中でも、私、僕、俺など使い分けられているし、あなた、おまえ、君など、英語、中国語では、一つの言葉で済んでしまうのに、日本では様々な表現で使い分けされている。

時間が経つとともに、日本社会についての観察範囲は広がってきた。強い印象を受けたことが2つあった。一つは交通網の発達ぶりであり、もう一つは仕事への取り組み方である。

交通は国の動脈と同じような役割を演じる。工業・商業の発達に大きな影響を与えるのである。日本の交通機構は非常に発